

# 2022 年度事業計画

## 1. 出版事業

### 1.1 機関誌「環境情報科学」の発行

- ・機関誌「環境情報科学」を年4回発行し、会員に配布する。  
50周年記念に関連した特集や関連記事を企画・掲載するとともに、各号については編集委員会において特集テーマを定め、当該分野の研究者等の寄稿による最新の知見等の特集記事として掲載する。また、「環境政策の最前線」と題した連載に毎号2本程度の論文等を掲載する。  
51巻2号 50周年記念特集号(3) 環境情報科学のこれまでとこれから\_\_2(仮題) (2022年6月発行予定)  
51巻3号 人口減少へ向かう人類社会とサステナビリティ研究(仮題) (2022年9月発行予定)  
51巻4号 生物多様性の今後の枠組み(仮題) (2022年12月発行予定)  
52巻1号 環境NGO(仮題) (2023年3月発行予定)
- ・投稿規程に従って会員から投稿された論文等については随時投稿を受け付ける。論文審査委員会における査読審査等を経て採択が決定したものについては、順次、機関誌「環境情報科学」に掲載する。
- ・本誌は、科学技術振興機構 J-stage 上にオンラインジャーナルとして公開する。

### 1.2 「環境情報科学学術研究論文集」の発行

- ・「環境情報科学学術研究論文集 No. 36」(11月発行予定)に掲載するための投稿論文を募集する。なお、同論文集に投稿された論文は論文審査委員会において査読審査を行い、審査の結果採択が決定した論文を同論文集に掲載する。
- ・本論文集は、科学技術振興機構 J-stage 上にオンラインジャーナルとして公開する。

### 1.3 英文誌「Journal of Environmental Information Science」の発行

- ・「Journal of Environmental Information Science Vol.2022」(年2回発行、2022年10月、2023年5月発行予定)の投稿論文を募集する。なお、本英文誌に投稿された論文は英文誌刊行等委員会において査読審査を行い、審査の結果採択が決定した論文を同英文誌に掲載する。
- ・本英文誌は J-stage 上にオンラインジャーナルとして公開する。

## 2. 表彰事業

### 2.1 環境情報科学センター賞

- ・環境情報科学に関する学問及び技術の進歩・発展に関連した優れた業績をあげた会員等に対し、「学術論文賞」「学術論文奨励賞」「計画・設計賞」「技術開発賞」「特別賞」等を授与する。

### 2.2 その他

- ・「環境情報科学センター研究発表大会 ポスターセッション」において優秀ポスターを表彰する。

## 3. 学術交流事業

### 3.1 環境情報科学研究発表大会の開催

環境情報科学に関する多様な研究分野の論文発表やポスターセッション、一般公開シンポジウム等を開催する。

### 3.2 環境サロン等の開催

最新の環境事情等に関するテーマを適宜選択し、年4回程度開催する。また、昨年度に引き続き50周年記念事業との連携も検討していく。

### 3.3 論文執筆支援セミナーの開催

これから論文投稿を予定している会員や研究に取り組み始めた学生を支援するため、論文執筆支援セミナーを開催する。

## 4. 学術活動の活性化

- ・50周年記念事業の一環として昨年度末にホームページ上で公開した「地域循環共生圏の実現に向けた研究の推進 CEIS の提言」の周知とフォローアップを行う。
- ・環境情報科学センター賞や環境情報科学研究発表大会など当センターの学術活動の場における議論や交流の活性化に向けた検討を進める。

## 5. 調査研究事業

- ・調査研究体制を整備し、環境情報科学に関する受託調査等を推進する。

## 6. その他

- 6.1 設立50周年を機会に、総会に合わせて記念式典を開催し長年にわたり支援を頂いた賛助会員、当センターの運営に携わった役員に感謝状を贈呈する。
- 6.2 第2次中期計画・長期ビジョンの検討
  - ・50周年記念事業による提言等を踏まえて、第2次中期計画および長期ビジョン（仮称）の検討を行う。
- 6.3 運営基盤の強化
  - ・事務局の人材育成や組織のガバナンスの強化を図る。
- 6.4 広報体制の強化
  - ・当センターの活動状況について、一般への広報の強化と会員への情報発信等の強化を図る。
- 6.5 他団体との交流の促進
  - ・会員への情報提供や関連団体との交流を促進するため、主催行事について他団体へ積極的な後援依頼等を行うとともに、後援いただいた団体の主催行事に対しても積極的な後援等を行う。